

主題：神の王国の実際の中に生きる

メッセージ 15

まず神の王国と神の義を求める

聖書：マタイ 6:19-34. 5:20. 詩 89:14. ピリピ 3:9. II コリント 3:8-9. 5:21

I. 父の王国は、今日の天の王国の実際であり、今日の召会生活の実際であり、来たるべき時代に天の王国の実現となります——マタイ 5:3. 13:43：

A. 「あなたがたは、自分のために地に宝を蓄えてはならない。……むしろ、自分のために天に宝を蓄えなさい」—— 6:19 前半, 20 節前半：

1. すべての信者の基本的な態度は、金銭を愛さないことであるべきです——ヘブル 13:5. I テモテ 6:10. II テモテ 3:2。
2. もしわたしたちが自分のために地に宝を蓄えるなら、わたしたちはいつもマモンに仕えて、神に仕えないでしょう——マタイ 6:19 前半, 24 節。
3. 主要な原則は、地に宝を蓄えることは神のエコノミーに反することであり、神のあわれみと顧みを信じないことを表明することであるということですから—— 32 節後半-33 節。

B. 「あなたの宝のある所に、あなたの心もあるからである」—— 21 節：

1. わたしたちの心は常にわたしたちの宝に従います。
2. わたしたちが何を言おうと、わたしたちの心はわたしたちの宝のある所に常にあります。

C. 「だれも二人の主人に仕えることはできない。なぜなら、人は一方を憎んで他方を愛し、一方に密着して他方を軽んじるからである。あなたがたは、神とマモンとに仕えることはできない」—— 24 節：

1. 神に仕えるために、わたしたちの心は単一でなければなりません。わたしたちは神とマモン（富）に同時に仕えることはできません——ルカ 16:13。
2. マモンの不義は、その性質と関係があります(9, 11 節)。サタンが発明したものとして、神の御前でのマモンの性質は、神のあらゆる面と全く適合しません。ですから、神の目にマモンの性質は不義なのです。
3. 宇宙の論争は、人が神を礼拝するか、それともマモンを礼拝するかです——マタイ 4:9-10. 6:24。
4. マモンから救い出されることが、神に仕える者の最初の、最も重要な条件です—— 21, 24 節. ルカ 16:13. ヘブル 13:5。

D. 「自分の命のために……思い煩ってはならない。……なぜなら、これらの物はすべて、異邦人が切に求めているからである。……明日のことを思い煩ってはならない」——マタイ 6:25 前半, 32 節前半, 34 節前半：

1. わたしたちの人生は思い煩いの生活であり、思い煩いで構成されています—— 32 節前半。
2. 神聖な命と神聖な性質の中には思い煩いがありません。神の命は、享受、安息、

慰め、満足の命です——ピリピ 4:6-7. I ペテロ 5:7。

3. わたしたちが人としての責任を果たして働いて生活を維持するとき、わたしたちは思い煩いのために何もすべきではありません。なぜなら、わたしたちは思い煩いを全く知らない神聖な命を持っているからです——ルカ 12:25。
4. 王国の民は決して明日を生きるべきではなく、常に今日を生きるべきです——マタイ 6:34。
5. わたしたちの生活に関して、わたしたちにはわたしたちを顧みてくださる天の御父ご自身がいます。彼はわたしたちの物質の必要を顧みるとき、彼の要素をわたしたちの中へと分与します。そして、わたしたちは御父がわたしたちの物質の必要を顧みることを通して、神聖な分与を経験します—— 32-33 節. ヨハネ 16:27 前半. エペソ 1:3。

**II. 父の義は、王国の新しい律法を守ることによって表現される義です(マタイ5:20)。この義は、王国の民によって生かし出されたキリストです：**

- A. 義とは、神の義なる厳格な要求にしたがって、神の御前で、人、物、事に対して正しいことです—— 20 節。
- B. 信者の義であるキリストには二つの面があります：
  1. キリストは、信者たちが神へと悔い改めて、キリストの中へと信じたときに、神の御前で客観的に義とされるための信者たちの義です——ローマ 3:24-26. 使徒 13:39. ガラテヤ 3:24 後半, 27 節。
  2. キリストは、神の現れとして信者たちから生かし出された信者たちの義です。この神は、信者たちが神によって主観的に義とされるために信者たちに与えられたキリストにある義です——ローマ 4:25. I ペテロ 2:24 前半. ヤコブ 2:24. マタイ 5:20. 啓 19:8。
  3. これら二つの面は、ルカ第 15 章 22 節から 23 節の最上の衣と肥えた子牛によって予表されています：
    - a. 最上の衣が予表しているのは、神の義としてのキリストが、信者たちに与えられて彼らを外側で覆い、神の御前での彼らの客観的な義となるということです。
    - b. 肥えた子牛が予表しているのは、神の義としてのキリストが、信者たちに与えられて彼らの命の供給となり、彼らにキリストにある神を生かし出させて、彼らの主観的な義となるということです。
- C. 義は、神のかたちの表現、わたしたちの中にその霊として生きているキリストの表現を表徴します——II コリント 3:8-9. エペソ 4:24. コロサイ 3:10：
  1. 義は、表現された神です——ピリピ 3:9. エペソ 4:24. コロサイ 3:10。
  2. キリストは命を与える霊としてわたしたちの内側に住んで、わたしたちの命また命の供給となっています。もしわたしたちが彼を生かし出すなら、わたしたちの生活は真の義となります。このような義は、神の生けるかたち、神の生ける表現です——II コリント 3:8-9, 17-18。
- D. 義は、神の王国と関係があります——ローマ 14:17. 詩 89:14：
  1. 義は、まず神のかたちという結果になり、それから神の王国を堅く立てます——ローマ 3:22, 25 節. 8:10, 29. 14:17。

2. 義は、神の統治、行政、支配と関係があります。神の御座は、土台としての義をもって堅く立てられています——詩 89:14。
  3. 義としての神の表現、神のかたちは、王国をもたらします。そこにおいて、あらゆるものは規制され、秩序正しく、かしらにつり上げられています。
- E. 義は、わたしたちの存在の中で神に対して正しいという事柄です——Ⅱコリント 5:21 :
1. 霊的に眠っている人は、神に対して正しくありません——Ⅰコリント 15:34。
  2. わたしたちの存在の中で神に対して正しいことは、透明で水晶のように明るい内なる存在を持つことです。それは、神の思いと意志にある内なる存在です。
  3. このように義であることは、キリストの中で神の義となることです——Ⅱコリント 5:21。
  4. これは義なる人、神を表現する人です。なぜなら、彼の義は神のかたち、表現された神であるからです——エペソ 4:24, コロサイ 3:10。

© 2015 Living Stream Ministry